

ミニフェスティバル

熱狂の渦を創り出した2時間

文化祭 1日目に開催されたミニフェスティバルは、社会情勢が少し落ち着いてきたこともあり、様々な制限はあるものの例年通りに近い開催となりました。開催の15分前になると体育館の正面入り口にはぞくぞくと人が集まってきて、その全員がミニフェスティバルの開催を楽しみにしている空気が広がっていました。昨年とは異なり、今年では会場の人数制限はなく、見たいグループをいくつも見る事ができるというかたちで開催することができ、開場してすぐに満席状態になっていました。「The Dangerous Tour At Nishi」によるキレと迫力のあるダンス、「Accelerando」による観客も巻き込んだリズムカルなピアノ連弾、2年生で構成されたバンド「FOGETMENOT」による音楽への愛があふれる演奏、昨年のミニフェスティバルにも出演した3年生のバンド「Champignons」の迫力ある演奏。どのグループのパフォーマンスも熱気にあふれており、見ている私たちの興奮も最高潮に達していました。その光景はミニフェスティバルというより大型ライブのようで、観客はもちろん、ステージでパフォーマンスをする出演者も全員が笑顔で思いっきり楽しんでいる様子でした。そしてミニフェスティバルはその場にいた全員が笑顔で幕を下ろしました。

バレーボール部、陸上部をはじめとして、生徒や先生方のご協力により、今回のミニフェスティバルを成功させることができました。

以下は、ミニフェスティバル当日に読まれた各団体の紹介文と当日の写真です。

「The Dangerous Tour At Nishi」

マイケル・ジャクソンといえばムーンウォークと思っている人が多いと思いますが、実は一体感もマイケルの魅力です。ゆえにバックダンサーを募ったのですが、皆「無理」と即答で、1人で踊ることになった次第です。中学のころから踊り続けてきたこともあり、ダンスに自信もあるので、見に来てよかったと思ってもらえると思っています。ぜひ楽しんでみてください。



「Accelerando」

こんにちは！Accelerando です。一見ピアノなんか弾けなさそうな男子二人でピアノ連弾をします。今回演奏するのは、計3曲。聞いた音があるメロディーが連なっていく「Club IKSPIARI」（クラブイクスピアリ）、「ドレミの歌」がモチーフの「Do-Re-Mi」（ドレミ）、ついつい乗ってしまいそうなリズムが特徴の「On y va!」（オニバ）の3曲となっています！聞いたことがあるメロディーも、聞いたことがないメロディーも全部楽しめるので、ぜひ皆さんも手拍子をして一緒に盛り上がりましょう！



「FORGETMENOT」

こんにちは FORGETMENOT です。フロントマンの茂末が中心となって結成したバンドで、メンバーは全員2年生です。今日このようなステージを設けてくださったことに心から感謝します。僕たちが持つ音楽への愛が皆さんに伝わればいいなと思っています。楽しんでもらえたら嬉しいです。よろしくお願いします。



「Champignons」

Champignons です。廣野耀子、田中美穂、金鹿梨乃、山本喜一、金澤菜都、黒子風大、壺阪凜の7人構成です。昨年度も出場させていただきましたが紆余曲折を経て一部メンバーが変わっています。



さて、メンバーの意外な一面、特徴

などなどを紹介していきます！まず、ドラムの金澤菜都はこう見えて全校委員長でした！ベースの田中は大人しい顔をして水上バイクに乗れます！バイオリンの金鹿は陸上ガチ勢。同じくバイオリンの黒子は競技かるたガチ勢！ギタボの廣野はちゃんと真面目です！ギターの山本には残念ながら意外性がなく、ただただすごく良い人です(本人談)！最後にキーボードの壺阪よりメッセージです。薬指の第一関節にしわがなく曲がりません。仲間がいら



っしゃいましたら教えてください。「Shout Baby」、
「ベテルギウス」、「残響散歌」、「透明人間」の4曲をしますが時間の関係上一部省略していることをご了承ください。いよいよ最後となりました。盛り上がっていきましょう！！

文化祭における生徒会役員の働き

文化祭は生徒会が企画、運営しました。開催の約半年前、第150代生徒会発足と同時に文化祭に向けての準備が始まりました。生徒会役員の中で全体統括、学年劇、学年展示、文化部展示、1日目オープニング(OP)、2日目OP、2日目エンディング(ED)、ミニフェスティバル、スピーチコンテスト、新企画(階段アート)という担当に分かれていて、春休みに入るまでは各担当が企画の運営準備を行いました。春休みに入るまでに行われたおまな文化祭準備としては、ミニフェスティバルのオーディションやスピーチコンテストのクラス予選、二次予選がありました。いずれも生徒会担当者が運営を行いました。春休み以降は徐々に各団体の責任者に進行のほとんどをゆだねる形をとりました。その代わりに春休み中は手の空いた生徒会役員は仕事が過多であった2日目の文化部ステージの仕事を手伝っていました。ただし1日目OP、2日目OPは仕事が本格化し、自分の仕事に集中していました。

そして時は進み文化祭前日、4月13日にはミニフェス、学年展示、文化部展示の最終調整、階段アートの準備、ロゴの取り付けを行ってから1日目OPのリハーサルを日が暮れるまで行いました。そして翌日、吹奏楽部のファンファーレで第75回文化祭は幕を開けたのです。1日目OPでは生徒会役員はそれぞれの持ち場について仕事をしていました。個人的な話をするとすばらしいOP映像の後にロゴが出てきたのは感動しました。その後開会式、スピーチコンテストを行いました。スピーチコンテストでは生徒会役員数名も審査員として参加しました。スピーチコンテスト終了後、学年展示、文化部展示を行いました。これに関して当日の仕事は片付けぐらいだったのですが、同時進行で文化祭2日目のアクリエひめじでの文化部ステージに向けての仕込みを行いました。午後からは本校体育館にてミニフェスティバルを開催しました。ミニフェスティバルでは観客の誘導、進行、記録などを、生徒会役員をはじめ係の生徒数名が行いました。学年展示、文化部展示終了後、学校待機中の生徒会役員全員でアクリエひめじへ移動して2日目OPのリハーサルを行いました。そして迎えた文化祭2日目、生徒会役員の最初の仕事は一般生徒の誘導でした。一般生徒が入場した後は、各ステージでの時間管理、各団体の誘導などそれぞれの仕事に当たっていました。この時の生徒会役員の大半は1日目で担当の企画が終了し、終始リラックスした表情で文化部ステージを楽しんでいたように思います(文化委員長、全校委員長、2日目ED担当除く)。文化委員長、全校委員長、2日目ED担当はEDが終わるまで不安で仕方がなかったと思います。しかし、EDは無事成功に終わり、観客からの盛大すぎる拍手を受けて心底報われた気がしました。



幕間仕事人オーディション



文化祭前日準備



文化祭前日準備



文化祭前日準備



スピーチコンテスト (消毒)



文化祭2日目への準備 (トラック積み込み)



会場仕込み



文化祭2日目舞台袖